

専門分野・看護の統合と実践 授業計画

授業科目及び時間数	総合看護技術 I 1 単位 15 時間		
開講時期	2 年次 後期		
担当教員	黒川みゆき	実務経験	有
<p><科目のねらい></p> <p>3 年次 4 月から始まる領域実習を控え、学校での学びが臨地実習で活かされないことが危惧される。実習での学びを効果的にするために、実際の臨床場面をリアルに再現した状況で皆さんがその経験を振り返り、ディスカッションを通してこれまでに学んだ専門的な知識・技術・態度の統合を図ることを目的とする。</p> <p><到達目標></p> <p>1. 必要な観察項目がわかり観察ができる。観察結果に基づくアセスメントができる。</p> <p>2. アセスメントに応じた看護援助を考え、行った行為を省察できる。</p>			
授業計画・内容・担当教員			
1 回目	1. 総合看護技術について 2. シミュレーション学習とは	オリエンテーション	
2 回目	1. シミュレーション学習 事例 1 ※事例は実習中、学生が遭遇する可能性があるものを提示する。	シミュレーション学習 デブリーフィング	
3 回目	1. シミュレーション学習 事例 2	シミュレーション学習 デブリーフィング	
4 回目	1. シミュレーション学習 事例 3	シミュレーション学習 デブリーフィング	
5 回目	1. シミュレーション学習 事例 4	シミュレーション学習 デブリーフィング	
6 回目	1. シミュレーション学習 事例 5	シミュレーション学習	
7 回目	1. 技術試験について (1) 事例の提示 (2) 事前学習 技術練習	講義・演習	
8 回目	1. 終了試験		
評価方法	技術試験 (70%) 振り返り (30%)		
受講生に対するメッセージ	2 年次の最終科目となります。臨地で経験することが予測される場面を設定し援助を実施します。その場面ごとに提示された課題を達成していくことが求められます。授業前にはその場面で必要な学習の課題が提示されます。提示された内容以上に学習が深められていたほうが学びは大きくなります。積極的に演習に取り組み学習を深めてほしい。デブリーフィングが重要な授業になります。積極的に自己の気づきを発信できるようにしてください。		
テキスト			
参考書	今まで使用した教科書		